

## 飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

### 第 336 回 名将ノムさんの損得勘定は、いかに？

2009.11.01

プロ野球日本シリーズ、巨人 v s 日本ハムの対戦は 1981 年(巨人が勝利)以来 28 年ぶりの決戦と、盛り上がりを見せているようである。小生、現役の「ジャイアンツ・ファンクラブ」の会員、長嶋茂雄以来の伝統的正統派ファンと自負しているゆえ、中々寝付かれない日々を送ることになる。

楽天のユニホームを脱ぐ心境を問われた野村監督は「わがままを言わせてもらえば、もう 1 年やりたかった」と本音を隠さなかった。楽天は初シーズンの 05 年、合併した近鉄とオリックスから「クビ」同然で放出された選手たちを集め、97 敗という記録的大敗でスタートした。「がらくた」と揶揄(やゆ)されたチームを 5 年目で C S (クライマックスシリーズ)に導いた野村監督には自負がある。事実、A クラス入りしたチームの監督が退任するのは異例で、日本ハムのトレイ・ヒルマン前監督ら本人の意向によるものを除けばほとんど例を見ない。

この野村監督の去就問題、中々話題が尽きないようだが、経営的にも、「ぼやき」で球団に大きな宣伝効果をもたらした。野村がメディアに露出した時間などを広告費に換算した「野村効果」は、一部報道で「300 億円」とも伝えられた。確かに野村効果は誰一人否定するものはいないかもしれない。

しかし年俸も超一流。09 年の楽天の選手の年俸総額は 16 億 1,010 万円と 12 球団の中で下から 2 番目だが、超大物の野村監督の推定年俸は 1 億 5,000 万円(日本プロ野球選手会)と待遇は破格。野村監督の仙台での生活拠点は地元で名高い老舗高級ホテル「仙台プラザ」のスイートルームで、正規の宿泊料は最低でも 1 泊 6 万 9,000 円、年間何日宿泊したかは定かでないが、我々庶民は、1 泊でも夢の話である。一方、後任監督で有力視され、今季限りで広島を退団したマーティー・ブラウン監督は 46 歳と若く、日本人女性と結婚したばかり。今年の推定年俸も 3,800 万円。それに比べ現状野村監督の報酬は約 4 倍で、監督交代は数字上、大幅な人件費カットとなる。

野球を明確に「ビジネス」と位置づける楽天の三木谷会長、徹底した経営者感覚で楽天を運営してきた。4 年前、野村氏を招聘したのは、野村夫人・サッチーの猛烈な売り込みと初代監督・田尾安志では地味過ぎるという意見からで、野村に「客寄せパンダ」をやらせただけとの悪口も聞こえてくる。しかし半面、「球団経営に関しては 12 球団で最も奮闘している」(スポーツジャーナリストの二宮清純氏)と評価する声もある。年間数十億円の赤字が当然とされた球界で楽天は、05 年度、異例の 1 億 5,000 万円の黒字を計上した。06 年度以降、球場改修費等を除けば収支は釣り合い、09 年度も経済危機で広告収入が減少したものの、チケット収入の増加や C S 進出に伴う「ボーナス収入」でカバーできる見通しなのである。その裏には、単に野村効果に頼ることなく、楽天経営として絶えまぬ工夫と努力を繰り返してきた。選手と触れ合う「ファンサービス」を「ファンエンターテインメント」と呼び、意識改革した。試合後のグラウンドにテントを張り親子で宿泊するなど企画力は抜群で、小中学生の野球塾は 5 年間で 130 回、マスコットの幼稚園訪問は 273 カ所と地域密着に徹した。

三木谷会長にとって、球団にスポンサーを持って来られない野村監督は不必要なのだ。星野や東尾のような人材にやってもらいたいのが本音。勝ち負けなど二の次で、球団に利益をもたらす人材こそ本当の監督。それでなかったら、格安の年俸で承諾してもらえる輩ということになるのかもしれない。だとすれば、ブラウン前広島監督など、その最たる例といえるのだろう。(失礼極まりないのだが...)

いやはや、うがった見方になってしまったが、広島は野村監督で決定！といっても野村謙二郎氏。「名将：野村克也氏」の去就はいかに？ ノムさん、楽天それぞれの損得は、いかに??